広報 かじき

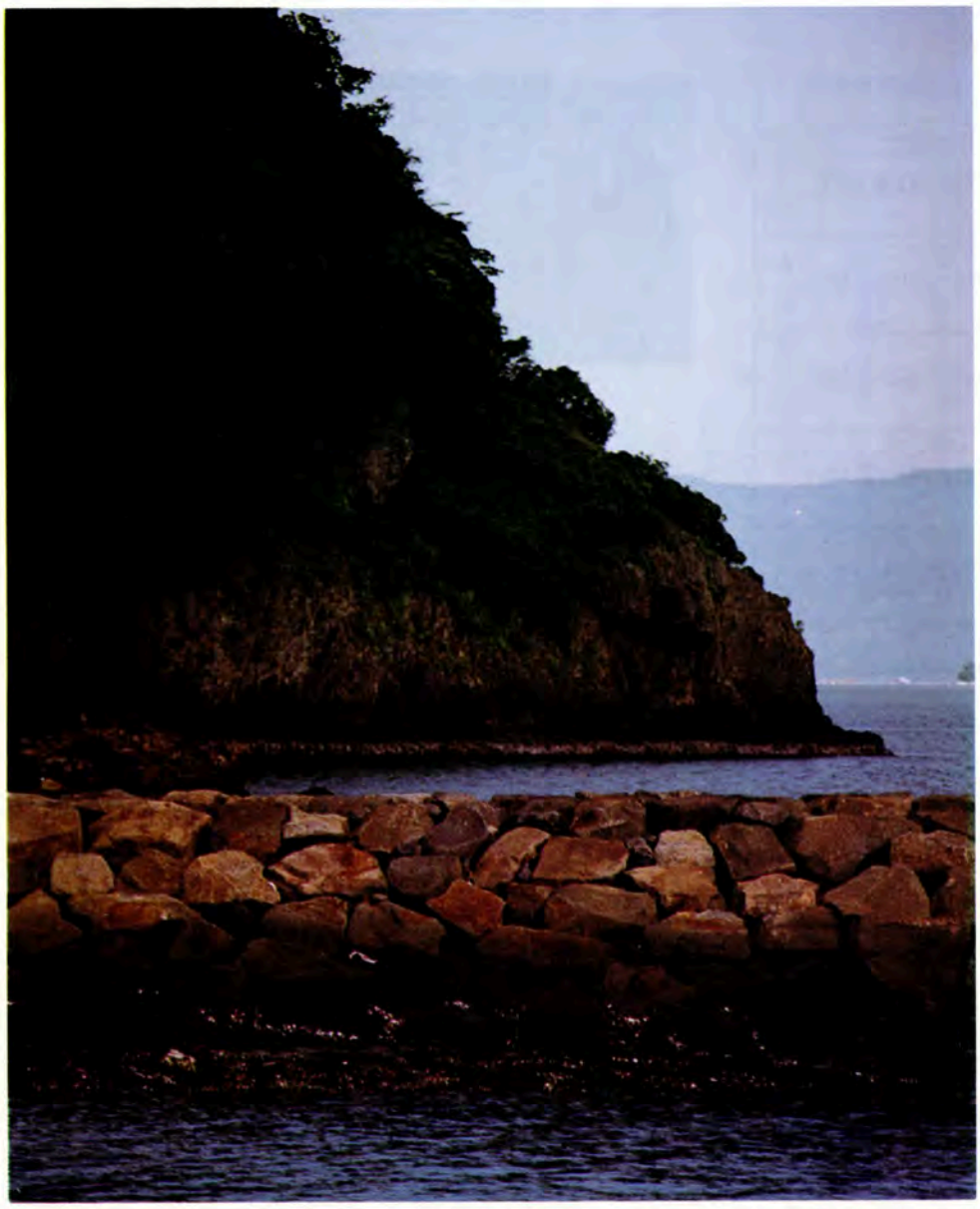
題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き

（平成2年7月1日現在）

総人口23,840人（－5）	出生　12人
男　11,216人（－3）	死亡　14人
女　12,624人（－2）	転入　95人
世帯数 8,366　（＋2）	転出　98人

●（　）内は前月との比較●



波静か……。黒川岬と、防波堤

黒川の岬

〝黒川の激浪〟として、加治木八景のひとつに上げられている黒川の岬も、今ではあまり人影を見なくなった。

黒川の名称は、加治木六代城主島津久徴が、黒川の東岸に建てた石碑に刻まれた「黒川記」という碑文の一節から起こったと伝えられている。

この黒川の岬は、往年の青年たちが逢瀬の場所としていた所。宵闇に、月光は錦江湾の海原を照らし、耳を澄ますと聞こえる潮騒の音。寄り添う二人はいつしか……。

映画の一コマになりそうな、情緒豊かなところだった。

今、港湾工事も進み、岬の海口にはりっぱな防波堤が築かれている。

平成2年

8月号

今月のページ

☆農業委員選挙・厚生大臣表彰受賞…2ページ　☆翔ぶが如くロケ・郷土料理教室…3ページ　☆まちづくり…4ページ　☆防ごう夏の事故…5ページ　☆夏祭り…6ページ　☆キス釣り大会・母と子の自転車教室…7ページ　☆町の話題…8～9ページ　☆カメラルポ…11～11ページ　☆熱戦スポーツ…12ページ　☆文芸・在宅医…13ページ　☆おしらせ…14ページ

●No.430　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62—2111●

無投票当選

任期満了に伴う町農業委員会委員選挙は、七月十日告示され十人の立候補者が届け出。定員十人の委員に達したため、七月十五日予定の選挙は公職選挙法第百条により、無投票当選となり選挙は行われませんでした。

この改選に伴う第一回町農業委員会が七月二十一日、役場で開催され各委員に宇都宮町長から辞令が手渡されました。

任期は三年間です。よろしくお願いします。

町農業委員会委員選挙

当選されたみなさん

町農業委員会委員選挙当選者名

出届番号	（ふりがな）候補者氏名	住所
1	いでむこう さね お 井手向 實 夫	小山田41番地
2	いし はら いつ お 石 原 五 男	木田3829番地
3	まえ だ ひとし 前 田 等	小山田4008番地
4	くら みつ よう いち 藏 満 洋 一	木田542番地１
5	わき かず お 脇 和 夫	木山1861番地
6	たけ だ よし のり 武 田 義 則	木田3407番地５
7	ひ だか つぎ お 日 髙 二 男	辺川1113番地１
8	ふつ はら はる か 蓬 原 春 香	西別府2184番地５
9	にし むら てる お 西 村 照 雄	西別府2700番地
10	ひ だか いさお 日 髙 功	小山田6903番地

企画課に設置

国勢調査実施本部を開設

十月一日から全国一斉にスタート

平成二年国勢調査（十月一日現在）が、十月一日から全国一斉にスタートします。

町では、調査の実施に際し、調査実施体制を整え万全を期するため、役場企画課に『国勢調査実施本部』を設置しました。

今回は、十年に一度の大規模調査で、五年前に行われた簡易調査に「在学、卒業等教育の状況」や「家計の収入の種類」など五項目が新たに加わり、二十二項目になります。

調査の結果は、行政施策立案などの基礎資料となり、きわめて重要な統計調査です。

調査票は、マークシート方式となっており、必ず黒のエンピツで記入するようになっています。

もちろん、統計法に基づく統計調査ですので、プライバシーは守られ、調査票は、集計が完了したのち統計センターで完全に溶解処理されます。

総務庁の任命を受けた百五十八人の調査員のかたがたが、九月二十三日ごろから担当地区の世帯を訪問します。

町民のみなさまの御協力をよろしくお願いします。

おめでとうございます

厚生大臣表彰を受賞

永年にわたり民生委員・児童委員として活躍してこられ昨年十一月三十日に退任された、前田ミキ子さんと坂元重子さんに七月十一日、厚生大臣表彰が宇都宮町長から伝達されました。

これは、前田さん（小陣、東・西諏訪、反土黒川担当）と坂元さん（楠園、中福良、上木田担当）が七期（二十一年間）にわたってそれぞれの地域の社会福祉増進、保護指導に貢献してこられた功労に対して贈られたものです。

ごくろうさまでした

猟師姿の西田敏行さん

第二回目のNHKロケ

NHKの大河ドラマ〝翔ぶが如く〟の第二回目のロケーションが七月七日、加治木町の竜門司坂と龍門滝で行われました。

この日は、俳優は西郷隆盛役の西田敏行さんと菊次郎役の子供の二人だけでしたが、竜門司坂と龍門滝や飛竜閣のほとりは、ロケを一目見ようと訪れた数百人の人々の人垣で、鈴なりになっていました。

撮影は、維新が成り明治と改号されたふるさと薩摩で、西郷隆盛が二匹の薩摩犬を引き連れ、加治木の御狩場で過ごすひとときを撮影したもので、人なつっこい西田敏行さんは二匹の犬にじゃれ付かれ「この犬は、私のお尻ちゃんめかけて飛びかかってきて、こそばゆいよ。私のお尻が気に入ったのかなアッハッハハ」と茶目っ気に高笑い。実は腰に巻いたたぬきの毛皮を目がけて飛びかかってきたもので、ユーモアたっぷりに話す西田敏行さんに、見学に訪れたみなさんも、思わず笑いの渦に引き込まれていました。

龍門滝では、西郷隆盛が菊次郎と滝の冷たい流れに足を入れ、一休みするロケシーン。「うーん気持ちがいい」と、実際に撮影用のキセルを取り出し、スッパスッパと煙をくゆらせていました。

また、午後から福山町での撮影に、毛上の篠崎秋明さんら二十人がエキストラとして参加しました。

龍門滝の水は気持ちがいい

竜門司坂のロケ

たくさんの見物人が

いい匂いがしてきます

『おふくろの味はむずかしいわ』

郷土料理教室は大繁盛

昔から伝わる〝おふくろの味、かじきの味〟を広く若いお母さんがたに覚えてもらおうと、今年も「郷土料理教室」が七月二十日、福祉センターで始まりました。

これは、私たちの祖父母や父母が食べてきた鹿児島の郷土色豊かな料理を、次の世代に伝承していこうと昭和五十年から続いているもので、今年で十五回目を迎えました。

この郷土料理教室は、県内では加治木町だけというもので、講師の永田フジさん（柳田）も「加治木町だけなんて、すばらしいことです。町でこのような教室を開催してもらい、大変ありがたく思っています」と喜ばれ、また、今年から西山久子さん（内原田）を助講師に招き「充実した温かみのある料理教室にしたい」と二人で指導していらっしゃいました。

若いお母さんたちは、永田先生の口伝を聞きもらすまいと、鍋や包丁を片手に、熱心にメモをとりながら『おふくろの味はむずかしいわ』と、話していました。

ぜひ、おふくろの味の皆伝を。

〝幼児に夢を与えてください〟

成田三郎さんが本を御寄贈

〝幼児に夢を与えてください〟と、このたびの異動で、加治木税務署長として大蔵省から赴任された、成田康郎さんのお父さんである成田三郎さんが七月二十四日、宇都宮町長に二百五十六冊の絵本を御寄贈してくださいました。

この絵本は、早速町内の各保育所に配布。園児らは、大好きな本を手に、大変喜んでいました。

成田三郎さんは、大阪商科大学高商部を御卒業後、京都大学文学部選科修。現在学校法人西田学園の理事をされております。

ありがとうございます

まちづくり

あなたの　で

日本ふるさと塾主宰　萩原　茂裕

足元をみつめているか

〝自慢できるものが真の観光資源〟ということを、私は常々いっています。ところが、全国のまちをお訪ねしてよく耳にするのは、「いやぁ、このまちには、自慢できるものは何もありません」「観光資源となるような材料がありません」と、いわれることです。初めから〝ないないづくし〟でそう決めてかかっては、何も生まれません。

まちの名前で観光客を呼ぶ

四年ほど前ですが、福島県の只見というまちにいきました。

地元の有志の方たちが、「夏はどうにか観光客がくるんですが、冬はさっぱりですよ。何もないですけどいい方法はありませんか」と口々にいいました。

そこで、私はこう答えました。「ないことはありませんよ。只見というまちの名前がありますよ。名前を売ったらいいでしょう。冬人が来ないんだったら、ただで芝居ぐらい見せることをやったらどうですか」

すると、居合わせた人たちの目が輝き、すぐさま実行に移したのです。「よし、おれがフイルムを借りるから映画会をやろう」商工会の会長さんが、かつて映画館を経営していた人で、話がトントン拍子に進み、イベントが実現しました。こうして『ただみ（只見）映画祭』が行われました。

会場は、屋外にセットし、スクリーンは、降り積もった雪でこしらえました。観客はコートのえりを立てて……。

地元のことをもっとよく知ろう

奇抜なアイデアに、マスコミが書きたてました。みんなが自信をもつようになったのです。

笹っ葉に目をつけ観光資源に

それまで〝何もない〟といっていた人たちが、自分たちのまちの名前を、観光の材料としてとらえたのです。

笹っ葉ばかりしかないと思っていた人たちが、次にはこの笹っ葉に目をつけ、これで何かをつくれないかと考えました。そして、笹を粉末にして混ぜた〝そば〟が誕生したのです。「笹そば」、これが爆発的に売れているそうです。

自信をもった若者たちは、お金を出し合って「夢・食・人」という有限会社をつくり、いろいろ新しい商品を開発しました。好評のようです。

〝まち〟も商品なのです。そのまちに愛着をもてば、おのずと自慢できるものの一つや二つは出てきます。足元をみれば、材料はいくらでもあると思うのです。

しかし、私たち日本人は、ともすれば、自分の住んでいるまちのことをよく知りません。私は、どこに行ってもそう思います。

私たちは、そこに住むかぎり、もっともっと、地元のことを知らなくてはいけないと思うのです。

〝燃える鹿児島〟交流会の案内

★特産品を作り、売るためにはどうしたらよいのか……？

★観光客を誘致するための、イベントを成功させるためにはどうしたらよいのか……？

★それらをどう地域振興につなげていけばよいのか……？

その具体的方策を探るむらおこしシンポジウム『燃える鹿児島交流会』の参加者を募集。

1、内　容

▽**グループ討議**　商品開発、観光開発、女性のむらおこしなど十六のグループに分かれて討議

▽**記念講演**　「鉄の村・文化から経済へ」鉄の歴史村地域振興事業団　専務理事　藤原　洋氏

▽**むらおこし落語**　三遊亭歌之介ほか

2、期　間　▽九月七日～八日

3、会　場

▽加治木町▽隼人町▽溝辺町

（**メイン会場は空港ホテル**）

4、対象者　▽むらおこしに取り組んでいるまたは、取り組もうとしている人

5、参加料　▽一万円（宿泊、懇親会費を含む）

6、参加予定数　▽三〇〇人

7、申込先

▽燃える鹿児島交流会実行委員会事務局（加治木町商工会）

加治木町諏訪町一八五―一

☎〇九九五―六三―二二九五

防ごう

夏の事故

夏の魔

花火による事故を防ごう

夏の夜、縁先などで楽しむ花火は、日本の代表的な風物詩の一つです。

線香花火などは、かわいらしい花火として、幼いころの思い出になっている方も多いでしょう。

しかし、このような「おもちゃ花火」も、原料は火薬です。正しい取り扱いをしないと火災ややけどの原因になります。どんなにきれいな花火でも〝火薬〟です。

始める前に、次のことを守りましょう。

注意書きを必ず読もう

安全検査に合格した花火には、「SFマーク」がついています。

注意書きにあるとおりに花火を楽しむことが大切です。

安全な場所を選ぼう

最近、目覚ましいハイテク技術の発達は、花火の分野にまで及んでいます。法の定める火薬の範囲内であっても、ずいぶんと高くまで上がる花火や、勢いよく火の粉を散らしながら、地上を走り回るものもあります。

こうした、火の粉が周囲の紙くずなどに燃え移って、火災となる場合が多く見られます。

花火をするときは、次のような場所を選びましょう。

★周囲に燃えやすい物がない

★建物から離れている

子供だけで遊ばせない

子供だけで遊んでいると、万一のとき、適切な消火作業ができなくなり、大きな火災となる恐れがあります。

また、夢中になって花火に近づきすぎてやけどをしたりする恐れもあります。

必ず、大人が付き添うようにしましょう。

花火をほぐしたり まとめて点火する ことはやめよう

火薬をほぐして集めたり、数本まとめて点火した場合、火薬が一度に燃え、ときには爆発することもあるので非常に危険です。

花火は、そのままの形で一本ずつ火をつけましょう。

気象状況を考えよう

次のようなときは、花火をやめましょう。

★火災警報が出されているとき

★強風注意報や乾燥注意報などが出されているとき

★その他〝風が強い〟と感じたられたとき

必ず水の入った バケツを 用意しよう！

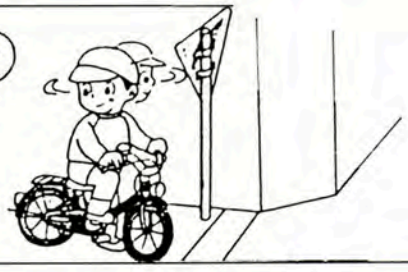
花火の燃えがらは、火が残っているかもしれませんので、必ず水につけるようにしましょう。

また、点火に使ったマッチの燃えかすなど、一度火のついたものは、必ず水の中に入れて、完全に消火しましょう。

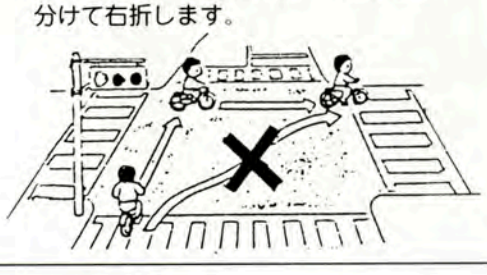
自転車は正しく乗ろう

自転車事故を防ぐために

○信号を守ります。
○一時停止をします。
○安全確認します。



信号機のある交差点では，下のように分けて右折します。



夏祭り

みこし〝大賞〟は加治木産業

第二十四回夏祭り

夏の夜空をあざやかに彩る光りと音の大パノラマ――――。

第二十四回加治木町夏祭り納涼花火大会は、八月五日加治木港で開催され、三万五千人余りの人出で賑わいました。

昼に開催されたパレードでは、かわいい掛け声を上げる保育園児のみこし隊や自信あふれる演奏をする小学校の鼓笛隊に続き、町内各職場からの長い踊り子連が踊りを披露。また、焼酎片手に腕を空に突き上げ独特の踊りをする『ヘンなおじさん』もいて見物客から盛んな拍手を受けていました。

各コンテストの結果は、次のとおりです。（敬称略）

★夏祭りポスター展

◎町長賞
押川　学（永原小六）

◎商工会長賞
上村みさき（竜門小六）

◎金賞
▽前畠奈々（柁城小六）満尾和美（錦江小五）▽竹下洋平（柁城小六）△上村奈々（永原小六）▽松永裕輔（加治木小六）

★みこし展

◎大賞
▽大人……加治木産業
▽小人……西元五月会育成部
▽幼児……川野保育園

加治木産業のみこしに拍手が

踊りはまかせて

木田第三地区の夏祭り

心に残るふるさとづくり

木田第三地区公民館が夏祭りを

『子供たちに楽しい思い出を』と、木田三地区公民館では、地域独自の〝夏祭り大会〟を七月二十一日、小烏神社境内で開催しました。

境内には、子供たちが自作した灯ろう一五〇個余りが取り付けられ、いつもはひっそりとしている小烏神社も、この日ばかりは賑やかな祭りの雰囲気に包まれていました。

この日は、子供たちの健康安全を祈願して御祈祷を受けた後、子供会ごとに分かれ、自分たちで作った自慢の『みこし』を担ぎ、お父さんたちの掛け声を合図に「ワッショイ、ワッショイ」と、元気に新生町内を練り歩きました。

また、灯ろうコンテストの審査やスイカ割りもあり、子供たちは大喜び。夜の部は、岩澤組の奉仕で設置された舞台で、婦人部や子供会、老人会などが演芸を夜遅くまで披露して賑わいました。

この祭りの経費は、公民館の予算内で行い、寄付金は一切受け付けておらず、瀬戸口喜敏公民館長は「新生町の村づくりは、公民館行事としてみんなで楽しくすることです」と、話していました。

金魚すくいは茶碗で！

納涼〝蒲生田祭り〟

ゆかた姿にうちわを手にした家族連れがそぞろとあふれ、蒲生田祭りの気分は最高潮――――。

町の夏祭りに先がけて、七月二十二日開催された〝蒲生田祭り〟はたくさんの人で賑わい、名物になっている『金魚すくい』は、子供たちが蜂の巣をつっついたような大騒ぎ。中には、モナカの網が破れて茶碗や手ですくう子供もいましたが、金魚の責任者の方は見て見ぬふり。子供たちには、楽しい思い出になったことでしょう。

手でとってもいいかなー？

キス全重量賞は白濱實雄さん

第十八回観光キス釣り大会

〝海のマナーを学び、楽しく釣りをしましょう〟と、『第十八回観光キス釣り大会』は七月二十二日行われ、釣り自慢や招待者など二百人余りの太公望が、自慢の腕を競いました。

これは、町観光協会と錦海漁協が開催しているもので、県内外から訪れた参加者は、午前五時に加治木港を出港して、なぎの錦江湾に乗り出して行きました。

大会に参加した南日本新聞社の池島充さんは、ビニール袋に入れた釣れた魚を検量に提出して「取材より釣りの方が楽しいです」とニッコリ。検量の結果キス全重量賞は、五、六六〇グラムを釣り上げた白濱實雄さん（竹下）が栄冠を手にしました。

検量は？

六万五千尾のマダイの稚魚を

錦江湾に放流

〝錦江湾をマダイの宝庫にしよう〟と、錦海漁協（松田繁美組合長）では七月十日、錦江湾の加治木沖に、六万五千尾のマダイの稚魚を放流しました。

これは、県栽培漁業協会が県内二十四か所で行っている「広域栽培パイロット事業」の一つ。漁協の組合員が、バケツに入った体長七センチの稚魚を、「早く大きくなれよー」と錦江湾に放流しました。

早く大きくなれよー

ナイターの審判

はい、右左をみて

信号はちゃんと止まって

母と子の自転車教室

〝お母さんと一緒に交通ルールを学ぼう〟と、町交通安全母親指導者研修会が八月七日、百十人余りが参加して役場グラウンドで開催されました。

この日は、子供たちは自分の自転車で信号機などが特設されたコースを、加治木警察署交通課の職員の指導のもと、母親の見守る中一人ずつ挑戦。難しくなるごとに子供たちは真剣な顔つき。また、消火器の使い方も姶良郡西部消防組合職員の指導で行われ、子供でもちゃんと一人前にできることを披露しました。

こんなのへっちゃらだい

公認一種審判員の資格を取得

迫田正則さん

岩原西の迫田正則さんが「日本ソフトボール協会公認・第一種審判員」の資格を六月十日取得されました。

この第一種審判員は、全国レベルの大会の審判を務められるもので、町内では四人目の「公認一種審判員」の誕生。また、迫田さんは、町ソフトボール協会の会長も務められ「これで会長らしく箔がつきました」と喜ばれ、町夏季ナイター決勝戦のでは、自信に満ちた判定を披露していました。

審判姿の迫田正則さん

TOWN NEWS ●まちの話題

網掛川公園を花できれいにしよう

〝網掛川公園を花できれいにしよう〟と町老人クラブ連合会（竹下利行会長）が七月三日、網掛川公園に真紅のサルビアの花などを植えました。

これは、県すこやか長寿社会運動推進センターの『花の道・花の街事業推進運動』の一環として行ったもので、大吉操さんをはじめ役員の方が、朝早くから公園の道路側に長さ百八十㍍にわたり植えていきました。

竹下会長は「秋には新しく植え替えて、美しい町づくりに貢献します」と話していました。

また、『花は私たちの心です』と、花のように美しく純粋で、素朴な心を持つ老人クラブ会員の目標として、二本の標語が立ててありました。花のように美しい真っすぐな心を培いたいものです。

サルビアの花がきれいに

町老人クラブ連合会員が美しい町づくりに貢献

老人クラブのみなさん

お母さん魚料理を忘れないで

錦海漁協が魚の料理教室を開催

海で捕れたばかりの新鮮な魚を「みんなで料理して交流を深めよう」と、錦海漁協（松田繁美組合長）が七月六日、初めての試みとして『魚の料理教室』を錦海漁協の事務所で開催しました。

この料理に使われた魚は、漁協の人たちが姫良町の松原海岸に仕掛けた三百六十㍍に及ぶ特大の建干網で捕れたもの。参加した漁協婦人部や地域の各種婦人団体、町議会議員など八十人余りの人たちは、網に掛かったキス、アメ、イカ、ゴチなどを童心に返り、てんやわんやの大騒ぎでつかみ取りしていました。

魚の料理は、漁協の事務所で行われ、町保健センターの栄養士さんの指導のもと、約三十人の婦人たちが、見事な包丁さばきで刺し身や揚げ物、煮物などに料理していきました。

試食会では、町保健婦の新納徳子さんらが、「お母さんがた、子供さんが魚を食べるのを嫌いだからといって、魚料理を忘れないでください。魚は健康に欠かせないカルシュウムがあります」と、スライドやビデオを使ってお母さんたちを指導しました。

料理より早く食べたいネ

たてあみでつかみどり

ちゃんと曲がれるかな

加治木小学校で交通教室を開催

こんな道はないよー

県教育委員会の「山坂達者研究指定校」の加治木小学校で七月十日、研究授業が行われました。

研究授業は、三年生全児童を対象に『交通教室』を開催。七つの難しいコースを、自分たちの自転車で回り、先生から採点を受けるもので、児童らは「キャー、こんな難しい道路はないわよー」と、難コースに挑戦していました。

加治木小学校の「山坂達者」は『楽しく活動する、心豊かな子どもをめざして』をテーマに、三クラスの先生が合同で三クラスを、協力教授・学習するシステムです。

手づくりのコース

天を突くヒマワリ

永原小学校の二年生が栽培

天までとどくかな

永原小学校の校庭に十二本の大きなヒマワリが〝天を突く〟ようにそびえ、学校や近所の話題になっています。

このヒマワリは、二年生が五月八日に植えたもので、三か月余りで四㍍ぐらいの高さまで成長。この一群の中でも四㍍七十二㌢のヒマワリが飛び抜けて大きく、茎のまわりもなんと十八・八㌢。昨年上木田の原口隆嗣さんの家で育った三㍍余りのヒマワリを抜いて、まさしく町内一番の『キング・オブ・ヒマワリ』です。大事に育てると五㍍を突破するでしょうネ。

加治木トピック

九州大会に出場

柁城ミニバスケットボールスポーツ少年団

柁城ミニバスケットボールスポーツ少年団（三宅隆一監督、団員三十九人）の女子部（前畠奈々キャプテン、部員十七人）が、沖縄県で開催される九州ブロック大会（八月十七日から十九日まで）に出場しました。

これは、七月十五日行われたミニバスケットボール九州ブロック大会鹿児島県大会で、準優勝して得た栄冠で、柁城ソフトボール少年団に続く快挙。キャプテンの前畠奈々さんは、「頑張ってきます。応援をお願いします」と、九州大会出場を喜んでいました。

沖縄に行けていいね

カメラ・ルポ

日本消防協会表彰などを伝達

町消防記念行事

町消防団では、消防法施行記念の八月一日、団員百六十二人が参加して、町営運動場で規律訓練やグラウンド・ゴルフ大会を行い、士気の高揚を図りました。

この日は、日本消防協会や県消防協会などの表彰状が伝達された後、規律訓練に移り、団員らはきびきびした動作で停止間訓練などを行い、消防記念行事が盛大に開催されました。

また、グラウンド・ゴルフ大会は、小山田分団が優勝の栄冠に輝きました。

表彰を受けられたかたがたは次のとおりです。（敬称略）

▽日本消防協会表彰

◎精績章

安楽　忠　前中央分団分団長
大迫秀清　前中央分団副分団長

◎勤続章

楠本洋一　錦江分団班長
立山経弘　前中央分団部長

▽県消防協会表彰

◎功績章

有馬義則　錦江分団班長
田代快男　辺川分団部長
岩元道男　辺川分団班長
宇都和義　中央分団団員
前村勝男　辺川分団団員
緒方勝也　小山田分団団員

◎勤続章（二十年）

有馬義則　錦江分団班長

◎勤続章（三十年）

楠本洋一　錦江分団班長
立山経弘　前中央分団部長

表彰状の伝達

グラウンド・ゴルフ大会

「ホースが曲ったかな？」

町消防操法大会

〝火事発生〟という緊急のときに、規律正しい迅速な消火活動ができるようにと、日ごろの練習の成果を競う町消防操法大会が七月二十二日、町営運動場で開催されました。

操法大会は、町内の六分団で競われ、各分団から選び抜かれた精鋭の団員たちが、自慢の操法を競いました。

結果は、次のとおりです。

▽小型ポンプの部
優勝　中央分団
▽自動車ポンプの部
優勝　錦江分団

小型ポンプ操法…いいかな？

川原輝夫さんら四人を委嘱

県交通安全協力員に

交通安全思想の普及・啓発に努める〝県交通安全協力員〟に川原輝夫さんら四人が県知事から委嘱され、七月五日宇都宮町長から辞令が手渡されました。

県交通安全協力員には、今年から川原輝夫さん（茶碗屋）が加わって、石原五男さん（上木田）大徳喜良さん（於里）田上宣昭さん（岩原西）の四人のかたがたが委嘱されました。

よろしくお願いします。

よろしくお願いします

『かわいい子ぶたさん』

ママさん人形劇団『ピノキオ』

ママさん人形劇団の『ピノキオ』（日高栄子代表ほか六人）による〝夏休み公演〟が七月十八日、町立図書館で開催されました。

この日は、お母さんに抱かれた幼児や、小学生の児童たち六十人余りの観客を前に、日高さんらママさん会員が、日ごろの練習の成果を汗だくになりながら披露。公演は『きつねとたぬきの化けくらべ』と『三びきの子ぶた』で、幼児たちは「かわいい子ぶたさんネ」と喜んでいましたが、悪いオオカミが出て来ると、怖がってわんわん泣き出す幼児もいました。

みごとな操作です

三年連続〝金賞〟をめざせ

錦江小学校「金管バンド」

錦江小学校の「金管バンド」が今年も九州大会に出場することになり、関係者や父兄は毎年の出場に喜んでいます。

この「金管バンド」（岩元公生部長、部員六十二人）は、九州大会で、二年連続の〝金賞〟を受賞。しかし、子供たちはプレッシャーを感じないのか、のびのびと猛練習。三年連続の〝金賞〟は練習につぐ練習が成果を出してくれることでしょう。

感動がお腹から頭へ

うなぎの稚魚二十キロを放流

龍門滝の観光にも一役

〝釣り好きの人に楽しんでもらおう〟と、網掛川内水面漁協（東一男組合長）では七月四日、うなぎの稚魚二十キロを放流しました。

この日は、辺川と小山田の上流域と、〝日本の滝百選〟に選ばれた龍門滝にも、釣りも楽しめるようにと放流。「観光の強化に少しでも役立てば」と、東一男組合長は話していました。

放流されたうなぎは、体長二十センチ余りに成長した稚魚で、龍門滝のきれいな冷たい清流に、元気よく泳いで行きました。

うなぎで龍門滝を名所に？

放流する東一男組合長

不発弾を発見！

護国神社前の歩道に

悲惨な戦争の忘れがたみ〝百キロの艦砲弾の不発弾〟が七月二十六日、護国神社前の歩道工事現場で見つかりました。

これは、第一建設の作業員のかたが、パワーショベルで土砂をダンプトラックに乗せた後、褐色に錆びた不気味な塊（かたまり）に気ずいて通報したもので、早速陸上自衛隊第八師団の処理班（熊本市）に連絡。爆張はその日に熊本へ運ばれました。

駆けつけた処理班が、カナヅチで叩いたり、タガネで削ったりすると、関係者たちは「爆発をするんじゃ」と心配そう。実は、この爆弾は信管がすでに腐って、爆発しないことが分かり、みんなホッとためいき。大崎処理班長さんが「米軍の艦砲弾で重さは百キロ。大和が三十二センチ砲を持っていたが、これだけのものを打ち出すには戦艦以上の艦が必要です」と説明しました。

45年間地中にあった爆弾

熱戦 スポーツニュース

スタートが大事

2人が新記録

町内小学校水泳大会

町内小学校水泳記録会は七月二十四日、加治木中学校のプールで開催され、男子二十五㍍バタフライで、二つの新記録が生まれました。

この日は、お母さんたちの大声援に、児童らは日ごろの練習の成果以上を発揮し、記録に挑んでいました。

〈新記録〉（敬称略）

▽男子二十五㍍バタフライ

瀬尾賢一郎（柁城小学校）20秒5

宇都　和憲（柁城小学校）21秒1

新記録をめざして

木田第三地区が栄冠

地区対抗 ミニバレーボール大会

〝だれでも、気軽にスポーツを楽しんでもらおう〟と、地区対抗「ミニバレーボール大会」が七月十五日、加治木中学校の体育館で開催され、木田第三地区が見事優勝の栄冠を獲得しました。

大会は、各地区から選抜された精鋭が、大きいボール（八十二㌢のやわらかいゴム製）に挑戦。練習はしていても、どうも勝手が悪く悪戦苦闘。しかし、地区民の盛んな応援を受けながら、好試合が展開されました。

結果は、次のとおりです。

▽優勝……木田第三地区

▽二位……城西地区

▽三位……城東第一地区

永原地区

ミニバレーはおもしろい

歩きながら 歴史を学習

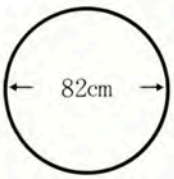
ウォークラリー大会

〝歩きながら自然や歴史・史跡などを学ぼう〟と「ウォークラリー大会」が、七月八日開催されました。

この日は、六十人余りの参加者が『文学の道コース』と『歴史探訪コース』の二つのコースに分かれ、それぞれ加治木中学校をスタート。椋鳩十文学記念館のチェックポイントの問題（この建物は何ですか）などを解きながら、地域の自然や歴史・史跡などを探訪して、加治木中学校にゴールしていきました。

参加者は「楽しい一日でした。しかし、来年は暑くないときにしてほしいです」と、汗だくになりながら話していました。

ミニバレーボール



ウォークラリー開会式

Aクラスは セントラル Bクラスは あすなろ

夏季ナイターソフトボール大会

淡い照明の中に、フライになったボールが夜空にふんわりと浮かぶ……。

町ソフトボール協会（迫田正則会長）による夏季ナイターソフトボール大会の決勝戦が七月二十五日、町営運動場で行われました。

結果は、次のとおりです。

Aクラス　優勝▽セントラル　二位▽球友

Bクラス　優勝▽あすなろ　二位▽錦江クラブ

ホームランをねらえ！

竜門句会

キンギョ草

日盛りの脚抱き牛の爪削る　川崎　黒兎
弾痕に一握ほどの夏の草　竹山　洋子
臥床まで月が覗くよ熱帯夜　加藤　白柳
捨て水に光を曳きて蛍消ゆ　神村　洋子
水底の雲より散りし鮎の影　内田美津代
立読みをゆるす書店や桜桃忌　佐々木かすみ
捥ぐ茄子の色艶やかに病家族　鶴田　耕
片蔭に眼鏡拭きをり郵便夫　古江　重美
かっこうの遠音背に負ひ峠越ゆ　犬童　麗子
えびの路の霧がひらきし山法師　恒吉　斗南
いちめんの植田や伸びし飛行雲　白尾　澄子
空梅雨の明けて夜毎の月赤し　三浦　ゆう
丈のほどボタン掛けたる蜀葵　高木　正男
孫嫁の顔ひとつ増ゆ実梅採り　柳田　稔
城跡は深く杜なす夏の川　中村チヨ子

句狂　さつま

▼兼題『島』（しま）　榊　牛尾先生　選

天　久しか振い　花嫁が来っどち　島は騒動福田一九〇
唱　島極中で　どんちゃん騒つ
地　島便い　干魚な年中　貰れ通えっ　越牟田七重
唱　そん時季きよって　中身も違ごて
人　子を猶い　妻は離島いな　行かん言っ　高木牛丸
唱　夫婦別居も　希けなよかろ

▼席題『棒』（ぼ）

天　蝦し出合つ　棒ぁ握ったが　腰しゃ逃げっ　福添秋水
唱　鳥肌でなって　身がずうちしつ
地　鳥黐ば　棒の先き付けっ　蝉ぶば取っ　鳥居桔梗
唱　子供にすれば　夏の楽しゅん
人　棒高跳　天に足しゅ向け　ひっかかっ　宝蔵水月
唱　まこて勇まし　格好ごわんが

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

暮らしのワンポイント

貝の砂出し
同じ〝環境〟をつくる

アサリやハマグリなど貝類のおいしい季節です。

貝類を料理する前に気をつけたいのは、上手に貝の砂を吐かせることです。うまく砂を吐かせるには、貝の住む〝環境〟と、同じ条件をつくることがポイントです。

アサリやハマグリは、海水にすむ貝なので、コップ一杯（二百cc）につき塩さじ一杯の、海水に近い濃度の塩水を、ボールにつくります。

ザルに貝を入れてから、塩水を張ったボールに浸します。このとき、ザルがボールの底につかないように、二～三個の小石を置き、台所の隅など暗くて静かな所に置くと、半日くらいで完全に砂を吐き出します。

ボールの底に小石を置き、ザルとボールの間にすき間をつくるのは、吐き出した砂をボールの底に落とし、貝がまた砂を吸い込むのを防ぐためです。ザルの代わりに、網を敷くのもいいでしょう。

また、砂出しには〝塩水の中にさびたクギなど金気（鉄分）のものを入れるとよい〟と、昔からいわれてきました。これは、鉄分が溶けて（さびたものほど溶けやすい）イオンを生じ、より海水に近い状態になるためではないかと推測されます。

一方、シジミは淡水産ですから真水で、しかも煮て砂出しをします。煮はじめて口が開いたら、煮汁をふきんでこします。死んで口を開かない貝も捨てることができます。

焼きハマグリは美味ですが、焼いていて貝がパッと開き、おいしい汁がこぼれてしまうことがあります。汁をこぼさないためには、あらかじめ外側にでている蝶番の凸部分を、切り取って焼きます。すると、貝はゆっくり口を開け、汁はこぼれません。

9月の在宅医

※診療時間は、午前9時～午後5時まで（原則として）

※当日の往診並びに緊急以外の受診は、御遠慮ください。

日	在宅医	住所	☎
2日	壱岐医院	溝辺町	⑤⑨2627
9日	蔵王病院	反土	⑥②4611
14日	大井病院	本町	⑥③2291
15日	徳永医院	溝辺町	⑤⑧2302
16日	ざ王病院	反土	⑥②4611
23日	鬼丸小児科	新生町	⑥②0308
24日	松元外科	木田	⑥③1911
30日	加治木整形外科	港町	⑥②3711

1990 8 おしらせ

海上保安大学校・海上保安学校の学生を募集

海上保安大学校・海上保安学校の学生を募集しています。

■受験資格□

昭和四十二年四月二日（大学校学生は四十五年四月二日）以降に生まれた者で、次に掲げるもの。

(1)高等学校を卒業した者及び平成三年三月までに高等学校を卒業する見込みの者

(2)高等専門学校の第三学年の課程を終了した者及び平成三年三月までに高等専門学校の第三学年の課程を終了する見込みの者

(3)その他大学入学資格検定に合格した者等人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

■採用予定者□

(1)大学校学生……約50名

(2)学校学生　水路……約15名
灯台……約35名
通信……約15名
航海・機関・主計……約85名

■試験日□

(1)大学校学生
一次……11月3日、4日
学科、教養試験
二次……平成3年1月8日
作文、人物試験ほか

(2)学校学生
一次……11月4日
教養、学科、作文ほか
二次……平成3年1月8日、9日

■試験地□　鹿児島市

■受付機関□　9月6日～19日

■問い合わせ先□

鹿児島市城南町23－7第十管区海上保安本部総務部人事課
☎0992－23－2291

軽油の混和等の承認制度について

軽油の販売価格には、一ℓにつき24円30銭の軽油引取税が含まれています。

軽油以外の灯油、重油などには税金は含まれていませんが、自動車の燃料として使用する場合には軽油引取税が課税されます。

従って、次の場合には用途のいかんにかかわらず、事前に県の承諾をうける必要があります。

① 軽油と灯油または重油等を混和する場合

② 灯油及び重油等を混和して、軽油を製造する場合

③ 灯油または重油等を自動車の燃料として譲渡（販売）または消費する場合

これらの承認を受けずに自動車の燃料として使用した場合は、灯油、重油等の他に軽油には更に二重に課税され、場合によっては、罰則の適用がありますので、御注意ください。

なお、詳しいことについては、加治木総務事務所、課税課（☎六三－三一一一内線二一一）へ連絡。

加治木港に寄港した海上輸送艇

無料 人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権養護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七－二B－一四
（☎63－3787）

中摩多美子　反土二七五六
（☎62－2768）

竹下利行　木田一四九
（☎63－1818）

うぶ声

出生児

仮屋　克幸	弘幸	自治会
吉村　知穂	光一	柳田
赤木奈々子	栄一郎	内原田
山下奈津美	満	吉原
神作　直樹	孝治	原ノ門
		空港団地
服部　朱香	洋文	春日団地
鬼丸　周	高恒	小烏
久木田美浦	政一	柳田
徳田　裕文	裕二	春日団地
永山　裕也	裕一郎	赤坂
岩切　慎弥	正利	垂ノ口
徳永健太郎	泉	小烏
奥　真希子	誠	原ノ門
二反田典史	廣海	柳田

▽七月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　豊町　田中寿彦（妻　時子三五）
三万円　浜村　新城清子（母　山元ナツ七七）
三万円　鶴原　宮内　静（二男　柾四五）
十万円　西町　森山スズ子（夫吉次七七）
三万円　西諏訪　森　正美（母ミツエ八二）
三万円　豊町　有馬スエ（夫　純明七六）
五万円　里ノ下　原口セイ子（夫房夫五四）
五万円　下浜　宮内カツエ（夫政雄九三）
三万円　下東木　犬童ミツ子（夫鉄男六四）

＝町老人クラブ連合会へ＝

三万円　小陣　森木康弘（妻カズ子五一）

＝町育英奨学資金へ＝

十五万円　田中　田代常人（父　文雄八六）

▽七月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

特別寄付

＝町育英奨学資金へ＝

〈百万円〉
鹿児島市下荒田町二－四一－六
南日本電気工事株式会社
代表取締役　畠田輝保

〈十六万円〉
加治木町木田大字区
区長　岩崎郷二

ありがとうございました。